

分担研究報告書

「介護職員に対するがん患者の看取りに関する教育プログラムの開発」
に関する研究

研究分担者 川越 正平 医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所
研究協力者 友松 郁子 医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所
片山 史絵 医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所
中里 和弘 東京都健康長寿医療センター研究所

研究要旨

本研究では、居住系施設の職員を対象に、看取りに関する知識と理解を促す研修会を実施し、入居者の日常のケアに加え、その延長にある看取りにまで対応できる人材育成を目的とした教育プログラムの実践方法について検討した。具体的には、研修会を通じて、看取りに対する心理的抵抗感を軽減し、受講者が施設という枠を超えて異なる施設の介護職とも交流することで、看取りに至るまでのプロセスとケアを相互に学び合う関係構築を目指した。これらの目的を達成するために、研修会は全2回セット（9月と12月に各1回）での開催とした。第1回研修会では講義とグループワークを通して看取りに対するイメージを膨らませることに主眼を置いた。第1回研修会終了時に「振り返りシート」を配布し、研修会後に看取り体験を振り返ることができるようにした。第2回研修会では、その振り返りシートを用いて看取りについてグループ毎に議論する形にした。

松戸市内にある97の居住系施設に研修会の案内を送付し、全2回の研修会への参加を条件とした参加を募った。第1回の受講者は42名、第2回受講者は22名であった。各研修会でアンケートを実施し（第1回研修会開始前並びに、終了時、第2回研修会終了時）、看取りに対するイメージ変化と研修会の効果について分析した（回収数：第1回38名、第2回22名）。看取りに対するイメージの変化について研修会の前後で比較した結果、「看取り無」群では、気持ちに関する項目で顕著な変化があった。研修会前はネガティブな気持ちが大半だったものが、研修会後にはポジティブなものへ変化した。更に、看取りに対して前向きな姿勢を示す受講者が増えた。「看取り有」では、職務に関する項目について特に変化が認められた。研修会前は、「入居者に寄り添うことが大切なもの」といった入居者に対する関わり方に影響されるものというイメージだったものが、研修会後には、職務として「やりがいのあること」といった記述へと変化した。また、看取りに対して前向きな記述が増えた点も指摘できる。以上の結果から、本研修会は看取りの経験の有無に関わらず、双方に一定の効果をもたらしたと考察した。

A. 研究目的

在宅医療提供体制の整備において、居住系施設におけるがん患者を看取るための体制整備

は重要課題となっている。その実現のためには、入居者の最も身近にいる介護職員が、入居者の日常のケアに加えて、その延長にある看取りに

まで対応できる体制作りが必要となる。本研究では、居住系施設の介護職員を対象に、看取りに関する知識と理解を促す研修会を実施し、よりよい看取りの実現に向けた教育プログラムを運営するための実践方法を検討することとした。本研修会を通じて以下二つの課題達成を目指した。

居住系施設介護職員の看取りに対する心理的抵抗感を軽減する
施設という枠を超えて異なる施設の介護職どうしが交流することで、看取りに至るまでのプロセスとケアを相互に学び合う

B. 研究方法

. 対象者 (表1・表2・表3)

松戸市内の居住系施設介護職対象に、全2回セットで平成25年9月10日と12月12日に「終末期ケア研修会」を実施した。参加者の所属施設(表1)、職種(表2)、経験年数(表3)は下記に示すとおりである。全2回の研修会への参加を条件とし、第1回は42名、第2回は22名が受講した。

表1. 受講者の所属施設

(名)

	第1回	第2回
1 有料老人ホーム	12	9
2 グループホーム	18	10
3 特別養護老人ホーム	5	1
4 宅老所	6	2
合計	41	22

表2. 受講者の職種 (複数回答)

(名)

	第1回	第2回
1 ケアマネジャー	4	2
2 ヘルパー	10	6
3 介護福祉士	18	10
5 その他	7	0
ヘルパー + 社会福祉士	1	0
看護師	0	1
管理者	0	1
99 無回答	1	0
合計	41	22

表3. 経験年数

(名)

	第1回	第2回
1年未満	1	0
1年～5年未満	15	8
5年～10年未満	14	5
10年～15年未満	7	7
15年～20年未満	1	0
20年以上	2	1
合計	41	22

. 研修会の内容

終末期ケアや看取りとはどんなものかというイメージの共有から始め、実践に即したケアの在り方を検討することを通して、暮らしを支えるケアの延長線上にある終末期ケアや看取りが、身近に感じられることを目的とした。

第1回研修会では講義とグループワークを通して看取りに対するイメージを膨らませることに主眼を置いた。「振り返りシート」を配布し、研修会後に看取り体験を振り返ることができるようにした。第2回研修会では、その振り返りシートを用いて看取りについてグループ毎に議論する形にした。

研修会全体の構成は下記に示すとおりである。

第1回研修会 (9月10日)

- ・アイスブレイク (写真1)
- ・看取りに関するDVD鑑賞 (写真2)
- ・居住系施設職員による講演 (写真3)
 - ～施設での看取り紹介～
 - 3施設での看取り事例の紹介
 - a. 有料老人ホーム
 - b. 特別養護老人ホーム
 - c. グループホーム
- ・講義 (写真4)
 - ～看取りまでのプロセスと居住系施設におけるケア～
- ・グループワーク (写真5)
- ・「振り返りシート」の説明 (写真6)

写真1. アイスブレイク



写真5. グループワーク



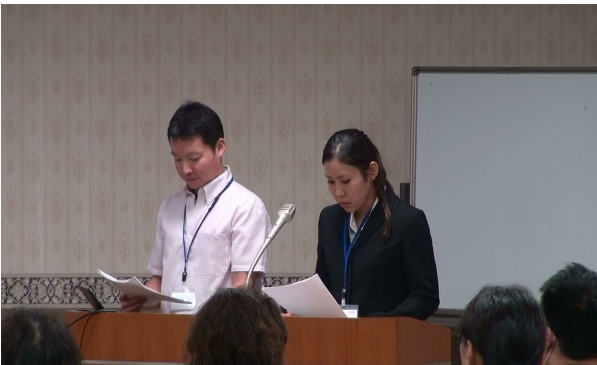
写真2. DVD鑑賞



写真6. 「振り返りシート」の説明



写真3. 講演



「振り返りシート」(写真7)による作業
(9月11日~12月11日)

- ・受講者各々が振り返りシートを記入
- ・当院看護師が10月末~11月に電話で連絡をとり記入についてサポート
- ・必要に応じて施設を訪問

写真4. 講義

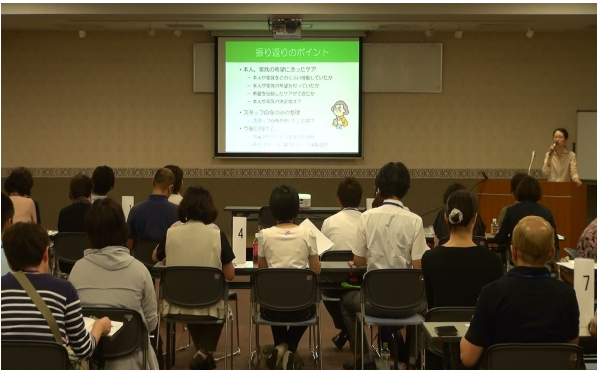


写真7. 振り返りシート(記入例)

振り返りシート	振り返りシート	振り返りシート	振り返りシート
<p>振り返りシート</p> <p>振り返りシート</p> <p>振り返りシート</p>	<p>振り返りシート</p> <p>振り返りシート</p> <p>振り返りシート</p>	<p>振り返りシート</p> <p>振り返りシート</p> <p>振り返りシート</p>	<p>振り返りシート</p> <p>振り返りシート</p> <p>振り返りシート</p>